社会学Ⅰ

科目ナンバリング　SOC-101
【Ⅳ】　選択　2単位

藤本　龍児

1. 授業の概要（ねらい）

社会学を学ぶ意義はどこにあるのでしょうか?

社会学は、政治学、経済学、法学などと同様に「社会科学」のうちの一つです。社会学の意義を原理的に理解するには、社会科学について理解しておかなくてはなりません。

本講義では、社会思想史の観点から、特に近代社会に焦点をあて、社会科学の成立や意義を論じます。そうすることで、社会学や社会科学の役割を確認するとともに、それらの問題点や課題を明らかにします。

2. 授業の到達目標

・社会科学を歴史的観点から理解し、成立の背景を理解する。
・社会科学を近代社会のなかに位置づけ、その意義を理解する。
・社会学を社会科学の一つとして位置づけ、その特徴を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

・原則として8割以上の出席を前提とする。
・適宜おこなう感想文の提出を必須とする。
・試験で講義内容とテキストにかんする理解度を問う。
・以上に授業態度をくわえ、総合的に判断して成績評価をおこなう。

4. 教科書・参考文献

教科書
藤本龍児　『アメリカの公共宗教：多元社会における精神性』2009年　NTT出版

5. 準備学修の内容

この講義には、特別な前提知識は必要ありません。

6. その他履修上の注意事項

この講義だけで一つのまとまりをもっていますが、続けて社会学Ⅱを履修することが望ましい。
講義は以下のような内容を計画しています。ただし、受講者の理解や関心に応じて柔軟に改変していきます。

7. 授業内容

【第1回】　はじめに：社会思想史から見る社会科学
【第2回】　古代における「社会」：プラトン、アリストテレス
【第3回】　中世における「社会」：アウグスティヌス、アクィナス
【第4回】　ルネッサンス（近代社会の準備）：人間中心主義の勃興
【第5回】　宗教改革（世俗社会の自律）：ルター、カルヴァン
【第6回】　科学革命（自然科学の発生）：デカルト
【第7回】　市民革命（民主社会の準備）①ホッブス
【第8回】　市民革命（民主社会の準備）②ロック
【第9回】　市民革命（民主社会の準備）③ルソー
【第10回】　ウェストファリア条約（主権国家の登場）：グロティウス
【第11回】　産業革命（市場社会の展開）①アダム・スミス
【第12回】　産業革命（市場社会の展開）②マルクス
【第13回】　第一次世界大戦（現代社会の形成）：西欧中心主義の崩壊
【第14回】　ヨーロッパの近代化と合理化：ウェーバー
【第15回】　まとめ